

久万高原町
議会だより

第9号

2016年
5月



久万高原町立久万中学校

主な内容

平成28年3月定例議会……………	2	総務文教厚生常任委員会	12~15
一般質問……………	3~7	産業建設常任委員会……………	15~18
本会議審議初日・2日目……………	8~11	本会議最終日……………	19~23

平成28年

3月定例議会

3月10日～3月18日

3月10日から18日までの9日間、平成27年度一般会計補正予算、平成28年度予算を主に、3月定例議会が開催された。27年度補正では、財政調整基金を増額、28年度予算では、地方交付税が2億6000万円、歳入全体で、1億6700万円が減額されている。2日目には、質疑に応答する形で、高野町長が3期目となる町長選挙への出馬を表明した。最終日には、まちなか交流館の工事請負契約の締結について採決が行われ、賛成6名反対6名となったが、議長裁決で可決された。その他案件については、全員一致で可決した。

平成27年3月補正後予算額

総 額	159億5477万2千円 (2億1393万5千円増)
一般会計	98億3813万7千円 (2億1172万3千円増)
財政調整基金 (財政不足の時に取り崩し財源を調整するための基金)	2億2087万8千円増
特別会計	48億1805万1千円 (101万2千円増)
事業会計	12億9858万4千円 (120万円増)

平成28年3月予算額

総 額	145億8705万2千円
一般会計	83億238万1千円 (1億6706万5千円減額)
地方交付税 (全体の58%)	が2億6000万円の減等で27年度より1億6706万5千円の減
特別会計	41億535万9千円
事業会計	21億7931万2千円

(簡易水道特別事業が、事業会計へ移行するため比較を省略します。)

一般会計

主な歳出	総務費	11億4469万円	昨年度比 (減額 2196万円)
	民生費	17億7466万円	昨年度比 (減額 6953万円)
	土木費	5億7009万円	昨年度比 (減額 6685万円)
	公債費	10億5673万円	昨年度比 (減額 1億1750万円)
	農林水産業費	12億8313万円	昨年度比 (増額 1億1918万円)
	教育費	7億3963万円	昨年度比 (増額 207万円)

一般質問

町内の除雪について



長山淳志議員

問 異常寒波の大雪時に除雪の遅れがあるが、今後の改善策は

答 除雪は業者と委託契約しているが、緊急時には委託業者以外にも依頼した。

高野町長

問 本年1月の異常寒波の影響で予想以上の積雪があり、町内各地で交通マヒが発生した。

除雪については、15cm以上の積雪の場合、各自治会長より除雪依頼

をし、対応することとなっているが、国道・県道の除雪も町道の除雪も町内の同じ業者であり、作業の遅れ等があり、生活の支障や緊急車両等の進入が出来ない。今後の対応や改善について伺いたい。

答

町内では、要除雪道路が国道町管理道路で約400路線ある。積雪が15cm以上の場合、幹線道路の国道・県道が優先され、町管理道路はその後になる。これらの路線は11業者と委託契約をしている。

今回は、連続しての降雪のため、積雪量が多く、町管理道路で除雪作業の遅れが見受けられた。

原因は、除雪用重機を所有している業者が減少したこと、国道・県道を優先したことだと考える。

緊急措置として、委託業者以外の業者にも依頼し、除雪作業を行った。

委託業者以外の個人所有の重機の使用は、公道での走行、使用機械の許可を受けなければならない点や除雪中の事故時の補償問題があり、発注者の責任を問われるので難しい。

冬季における消防署、消防団の緊急車両には冬用タイヤやチェーン装着をし、緊急出動に備えるよう指示している。

積雪時での救急対応は、通常3名編成のところ状況に応じて4名に増員をし、出勤させるとともに、救急要請の内容により、消防職員や地元消防団員に連絡し、道路情報の把握に努めている。

今後の除雪対応では、限られた業者・機械で迅速な対応ができるか検討する必要があるが、全て行政任せにするのではなく、地域内の助け合いや住民のボランティア精神の啓発により、住民パワーの活用も必要かと考える。

凍結道路対策では希望する自治会に、融雪剤を配付している。

高野町長

問 国道は別として、県道、町道、各枝線があるが、時間待ちし

ても除雪してほしい場合に、除雪の仕方に問題がある。離合場所が非常に少ないので、今まで以上に除雪時に離合場所を設置して欲しい。

答

地域住民や高齢者の事を心配する気持ちは私も同じだが、以前24業者あった建設業者が今は12業者となり、十分な対応が取れなくなってきた。

五、六年前の大雪時に倒木で電線が切れ、停電となり、こたつも電気ストーブも使えなくなった経緯から一昨年から各地域の自治体に石油ストーブを配付している。理解いただきたい。

高野町長



久万地区積雪風景

町道「大坊公園線」の

改修整備について問う



上沖教一 議員

問 四十四番札所大宝寺の通り道である町道「大坊公園線」の整備は実施すべきと考えるがいかがか。

答 国庫補助の社会資本整備総合交付金事業を活用して今年度より実施する。

高野町長

は、住民の生活道でもあり大型巡礼バスや巡礼マイカーなどの通行の際の危険防止のためにも改修整備が必要と考えるがいかがか。

答 久万高原町は土佐街道の門前町として栄え、八十八か所の折り返しである四十四番札所大宝寺は町の観光の一つでもあるが、道幅が狭く離合場所がないことやトイレが汚いといった苦情が以前から出ていた。大坊公園線は延長400メートルの主要な町道でありながら、道幅が狭く、勾配もきついため歩行者は大型車両の通行時には危険も感じることがあり、その対策として国庫補助金を活用して、27年度から3か年計画で実施する。27年度は路線測量や用地測量、買収を行い28年度から工事に着手する。この整備により住民の安全な生活道としての利用と巡礼者や巡礼車両のスムーズな通行が確保されると考えるので、前向きに進むよう協力していただきたい。

高野町長

すべきであるが、道路幅5メートルというのは大型車の車幅が2メートル50センチから考えて安全な離合が可能か。建設課に尋ねる。

答 それぞれの路肩部分を50センチずつ合計1メートル確保しており、大型車と普通車の離合については問題ないと認識している。また大型車同士の離合場所については一か所、待避、離合場所を構えている。

高橋建設課長

問 車も人も安全、安心に通行できるような改良工事を望む。関連となるが巡礼者からも不評の公衆トイレは早く改築していただきたいが町長の考えを伺う。

答 3年くらい前だったか自治会長会でも当該トイレの問題は意見をいただいた。早速現地も確認したが言われる通りの状態であり、現在はベニヤで周囲も困り使用不能としている。観光の一つではあるが所有者がお寺ということで、お寺とも相談させていただき、町からも何か補助事業にでも乗せることも考えながら前向きに進めたい。

高野町長

問 四十三番札所、明石寺から大宝寺までの距離が約80キロある。巡礼者の多くは高齢者でありバスツアーを利用する者が多く、参道を快適に歩いてもらうためにも、道路改修が完成する平成29年度までに駐車場にあるトイレの改築していただきたい。

問 四国遍路は開設1200年を越え、世界遺産への登録も叫ばれている。年間15万人を超える巡礼者が訪れる八十八か所の折り返しの寺である大宝寺への進入道の町道

問 道路改良工事とは一般的に利用者にとってより良いものに



大宝寺駐車場

地域公共交通の現状と

対応策を問う。



上岡正文議員

問

JRバス落出線の廃止の件を含めた、地域公共交通の現状と対応はいかがか。

答

JRバス廃止の件については確定ではなく今後協議していく課題であり、現在運行している民間の公共交通機関の存続維持に努力していく。

高野町長

問

現在町の公共交通施策として、民間公共交通への補助や、代替バス、福祉バス等の運行を行っている。しかし主要定期路線バスであるJR落出線が廃止されると聞くが現状はいかがか。

答

JR落出線については、久万落出間が利用者の減少で路線維持が困難となり廃止対象路線として検討していることであるが、直ちに廃止に向けた手続きを進めるということでなく、今後協議をしていくことである。高齢化が進む中、バス停までの距離が遠く利用したくても利用できないという声も有り利用者も減少しているのは事実であるが、現在運行している民間の交通機関の存続維持に努力していかねばならないと考える。広大な面積を有し地理的特性を考慮しても、本町の公共交通問題は大きな転換期を迎えており、費用対効果の問題も含めて住民の皆様のご理解とご協力をいただきながら考えていくべきである。

高野町長

問

今後、検討委員会等で協議していくことだが、JR四国バスとしても採算面で廃止を余儀なくされている現状の中、長い猶予はできないと考えるが具体的な時期についてはどうか。

問

公共交通機関の利用者が減少していく中で、運営は厳しい面もあるが、地域と中心部を結ぶ地域バス等の充実により高齢者や通院、通学の利用者への配慮ができるような体制づくりを進めていくよう願う。

息したい。

高野町長



JRバス駅やまなみ

答

具体的な時期については示さずにはいかない。故に対応策もとれないのが現状であり、これからの検討課題であるのでよろしくお願

各支所の職員増員を



田村昭子議員

問 過疎化・高齢化での支所の在り方を問う

答 職員抑制の中、支所は現状で存続する

高野町長

問 1町3村が、対等合併してから12年が経過した。過疎化、高齢化が急激に進んでいく現状の中で、特に面河、美川、柳谷の実情を見るに、各支所の存続は不可欠でないかと考える。現状は職員の配属人数が少なく、災害時の対応遅れや、高齢者対策等の充実、地域の活性化など、あらゆる課題を抱えていると思う。

支所独自の取り組み、また今後の支所の在り方について伺いたい。

答

職員の少ない中、面河、美川、柳谷支所のような他にも類のない支所が多い。今、各支所に3人から4人を配属している。

支所長の会議への出席や職員の病欠等で不便をかけていることは承知しているが、今の人員の中から増員はできない。財政改善実行プランの策定をし、最低限の職員採用で職員を抑制し、人件費の軽減に努め、本庁、支所を問わず適正に配備しており、時間外勤務などで事務を遂行している。また、臨時職員の雇用や定年退職者の再雇用を進めている。

支所は最も身近な行政機関であり、住民活動の拠点であるので、関係各課や支所間の連携等総合支援を行っている。支所は、地域住民が安心安全に暮らし、高齢者の福祉に寄与するためにも、可能な限り存続を図りたいと考えている。

高野町長

問

私たち議員は全員で久万高原町全域を回り、一部の地域では意見も聞かせていただいた。

県下一広い久万高原町は自治会が点在しており、高齢化の進む中、久万、面河、美川、柳谷地区それぞれ持つ課題はちがうと感じた。

町村合併後、本庁方式で行政が動いているが、町全域を網羅するには、

各自自治体を取り組んでいる小さな拠点づくりの核として、各支所を人的にも充実し、センターのような役割を持たせ、地域の元気を発信していけばと考える。

先月、面河住民センターで高知県大川村議長の朝倉氏の講演「過疎への挑戦 50年の歩み」があったが、面河支所からの発信である。地域住民や町内各地から多くの参加があり、熱心に聞き入っていた。これは、多くが関心を持ち、その糸口を見つきたいからだと考える。過疎高齢化の中、支所を充実し地域住民のニーズを受け止める本庁方式であってほしいがどうか。

答

町の総合戦略の中で、小さな拠点づくり、地域の方向性、集落間のネットワーク構成という問題解決への取り組みなど掲げている。

地域の自治が大事なので、それぞれの地域の住民が危機意識を持ち、地域への理解を深め、その中で生まれる施策に対して、人的な支援や財政的な支援が必要なのか明確にしながら自治活動を高めていきたい。

各支所もこのことを受けとめ、今後の自治体の在り方を研究し、体制を作っていきたい。

稲田総務課長



久万高原町役場美川支所

問 地域の住民は、本庁より支所へ相談に行く方が、話がしやすいのではと考える。重ねて述べるが、今後、職員を増やし、支所機能を充実していく考えがあるのか伺いたい。

答

職員が非常に少ないので、支所の職員の増員は難しい。当分の間は現状で存続をしていくが、本庁と支所間の連携は大事だと考える。

高野町長

役場の機構改革と

今後のまちづくりを問う



瀧野 志議員

問 役場の機構改革を問う

答 効果的な役場機能構築は時期を見て実施したい

高野町長

問 合併後12年経過し、1万2000人弱の人口が、8500人

人を切った今、まちづくりについても大きな変革の時が来ていると思う。今後極端な人口減少社会を迎えるにあたり、役場の組織もその時代に沿った流れで変更すべきだ。町長の所見を伺いたい。

答 今後は、かつて経験したことのない人口減少社会の到来が

予想される。役場の組織も、その時

代の流れの中で、変更していくべきとの指摘は私も議員と同じと考える。

今後、人口問題対策や、雇用経済対策が最重要課題であるが、福祉も教育も建設も産業も重要な行政課題である。そのような中、最適な人的資源の中で、効果的な役場機能構築は常に検討しているが、時期をみて実施したいと考えている。

高野町長

問 今議会に提案されている今後5年間、10年間の総合計画について伺いたい。

また、来年から公会計が始まると聞くが、資産台帳の整理や中長期的な計画の中で、施設管理をしていくとそれだけの費用が必要だ。このことについて、新しい課なり、新しい係で対応すべきと考える。

また、大変な長寿社会を迎えた中、「町が元気になる課」とかユニークな名前が考えられるが、高齢者の皆さんが訪れて、いろいろなことが聞けるような組織に変えていくべきと思うが、答弁願いたい。

答 第二次久万高原町総合計画、久万高原町まち・ひと・しごと

と創生総合戦略、人口ビジョンの問題の中で、来庁者の住民が気持ちの

いい、機構改革に取り込んでいかねばと思う。

高野町長

問 先般、議会でそれぞれの地域に出向き意見を聞くと、80歳

の人が、後5年もしたら大変だ、不安に思うとの意見を聞いた。

本当に長い間、頑張って頂いた多くの高齢者の皆さんが、それぞれの地域で問題を抱えている。町の総合計画策定に当たり、コンサルタントを通じて、町民と共同の計画づくりというが、私は住民の意見を聞き入れた計画ではないと思う。

机上の空論にならないよう、町民の福祉の向上につながるよう、職員教育が大切と考えるがどうか。

答 職員の教育は、教育プランを立て、各教育研修活動に参加

させているし、今回の総合計画や将来の戦略ビジョン策定にも参加させている。

稲田総務課長

今後のまちづくりを問う

問 20代から30代の若者が定住でき

者の働く場が必要であるが、行政はどのように考えているか伺いたい。

答 久万高原町まち・ひと・しごととの総合戦略を策定し、人口

問題対策で雇用対策に努めている。若者の仕事場は、当町は人手不足でどの業種も人が集まらないのが実情ではあるが、若者のインターン、Uターンを進めていかなければと思う。

高野町長

問 国勢調査の結果、当町は子供を

を生育する世代が非常に少ない。移住・定住については、まず住宅、次に仕事そして学校や通学問題や地域とのコミュニティとか諸条件がある。

林業会社いぶきはうまくいっていると思うがどうか。

答 いぶきについて、募集しても

応募が少ない現状で、外国人の雇用等も考えなければいけない。移住・定住で実績を上げている中津地区には、要望を受けいろいろと整備してきた。

高野町長

本会議 第1日 質議

議案第4号

久万高原町ハイランドパーク美川条例の制定について

瀧野議員

※事故対応どうなっているか

以前のスキー場跡地を利用しての設置条例だと思うが、事故等起きると思う。利用料金あたりも結構安い。裁判の際、施設側がだいたい負けているのが現状と思うが、そのあたり検討されているか。

中川企画観光課長

事故等に対しては、今までの自転車、自動車競技に関してはそれぞれの保険で対応していた。トータルとしては管理施設については総合賠償保険で対応している。

議案第9号

久万高原町税条例の一部を改正する条例の制定について

瀧野議員

※納税、不公平無いように

他の町等では、税金についてかなりきびしく徴収しているが、当町では5年納めなければ不納欠損で処理され、もう終わりなのではなか。説明していただきたい。

佐藤住民課長

町税の場合、不納欠損、5年で時効と法的に定められているが、全てでは無い。繰越を決定する時点で、1件1件内容を審査し、不納欠損あるいは執行停止の決定をしている。大きな案件については、愛媛滞納整理機構に移管している。

瀧野議員

何回も不納欠損をするケースも考えられる。納税において不公平が起きないようにしていただきたい。

議案第22号

平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第4号)

中野議員

※交付金の活用方法の考え方は

商工費の中で地方創生加速化交付金を活用しての2649万円の事業があるが、この交付金の目的の中には、安心につながる社会保障、子育て

て支援が含まれていたと思う。こういう交付金が出される時にこそ、ちよつと手薄になつてきている子育て支援とかに活用すべきではなかったかと考えるが、いかがか。

稲田総務課長

この交付金は、全国的に、特徴的な施策としてやられている事業に対して充てられる。したがって、子育て支援等、通常のな事業は、対象にならないという経緯がある。

中野議員

私が調べたところでは、子育て支援等の項目があつたので、疑問が残るが。一方、申請された事業についても具体的な成果目標の設定等の条件があつたと思う。申請された成果目標等、産業建設常任委員会で報告いただきたい。

本会議 第2日 質議

議案第33号

平成28年度久万高原町一般会計予算

中野議員

※柳谷支所、耐震診断するなら・

柳谷支所は、非常に老朽化が進んでいる。この状況下で、耐震診断にお金をかけるのなら、いっそ、その費用をこかげ等への移転費用にあてるといふような経費の削減をはかるべきではないか。

稲田総務課長

柳谷支所については、診断の結果が、半心配される部分もあるが、結果をみて、改修かこかげ等の施設を活用するのか判断したい。

瀧野議員

※分かりやすい公会計をめざして

地方公会計への移行、開始のための予算が組まれているが、いままでの単純簿記でありながら、複雑な簿記がやつと住民の皆さんにもわかるような動きになるのかと、期待している。地方公会計は、29年度からの実施と聞いているが、職員全員への

周知徹底、議会への詳しい説明をすべきだと考えるがいかがか。

稲田総務課長

実際の運用は29年度決算からになる。今回は、財産台帳の整備が主になる。それまでも、単一簿記の指標も1回出す形になるのであくまでも全国統一的な公会計システムでの指標を出していくようになる。その指標により具体的にみやすくなり、全国的な比較も進むと考えられる。

瀧野議員

将来を本当に見通せる会計、それが出来ることよって有利な補助事業の活用であったり、多くのむだの削除、効率的な予算の運用が出来ると思う。普通、会計については町民の皆さんにもわかりにくい。最初から、取り組む時に誰にでも分かりやすい公会計を目指すべきだ。進んでいる町では実際にしている。取り組み方、問題点はどこか、すべて提案されている。そういう事も議会にしてもらいながら進めていただきたい。

稲田総務課長

当然、議会にも説明し、住民の方々にも、決算状況については、このシステムを運用しながら、さらに分かりやすい説明につとめていきたい。

中川議員

※地域おこし協力隊員採用には、地域おこし協力隊員は現在2名から4名になるのか。

稲田総務課長

4月1日以降4名。道の駅、農業公園、中津地域へ配置。もう1名はまちなか交流館を中心とした地域振興に携わる予定だ。

中川議員

高知県、大川村は人口400人ぐらいの村だが地域おこし協力隊員の2人が移住して結婚して子供ができています。採用の段階で、この地域に住みつくぐらいの覚悟のある人を探用していただきたい。

稲田総務課長

できるだけ地域に根付いていただきたいという思いを持って採用している。

瀧野議員

※集会所の修繕を制度化するのか

集会所の修繕補助金300万円計上されているが、どうなのか。何処なのか。

稲田総務課長

集会所修繕事業は、集会所を中心とした地域コミュニティの形成を促進するという面から補助制度を新たに立ち上げるものだ。

瀧野議員

先般、集会所と公民館の違いの話でしたが、これから、どの集会所も町費を使って修繕するという事ではないのか。はつきりしていただきたい。

稲田総務課長

集会所整備事業については、今後統一して修繕をして、制度化していく。

瀧野議員

そういう風に変わるのなら、先に制度をちゃんと作ってから予算執行すべきではないのか。

稲田総務課長

この制度の設計にあたっては、専門委員会に諮問し方向性は示したつもりだ。

瀧野議員

今までと違う方向でいくのであれば、各集会所の運営先にも知らせるべきだ。認める認めないでは無く、

これでは予算執行できない。

町長

議員の言われることも十分理解できるが、高齢化、人口減少の中で運営自治会等の出費も難しい現状だ。これから、自治会等にも十分説明し、議会にも相談しながらこの方向で進めたい。理解いただきたい。

瀧野議員

説明はよくわからないが、修繕について、全て町がみていたら大変なことになると思うが。

稲田総務課長

新たに、制度設計していくわけだが、補助金は100万円を限度とし、大きなものについては2分の1補助という形にする。年度初めの自治会長会の中で希望をとらせてもらい、計上した年度予算のなかでの事業となる。

西山議員

※移住者用古民家再生事業促進を

移住者用古民家再生事業945万円、内容等説明いただきたい。

稲田総務課長

県も制度化している移住古民家の事業を町でも制度化するものだ。い

ろい条件はあるが、県の補助も含め、300万円程度のものを3件、残っている家具等の運搬費15万円を3件計上している。

西山議員

今までに、移住した方にも空家の改修はお金がかかって大変だときいている。この事業は、全町のみると、需要があると思われる。利用者が多いようなら枠等また考えていただきたい。

瀧野議員

※愛媛新聞の人口透析施設記事の説明

2月27日付け愛媛新聞に、久万高原町の人口透析施設案というようなことで記事が出ていたが、結果も何もはっきりしていないのに患者さんたちに対して大変失礼な記事だ。誰が新聞社に情報を提供したのか。なぜ、こんな記事を出させたのか。

和田病院事務局長

先日、透析診療所の関係について取材を受け、町立病院のほうでお答えした。現在の検討課題について質問を受けたので、町職員でつくっている検討委員会で検討した内容について情報を出した。

瀧野議員

これは、患者の皆さんには大変失礼な記事だ。結論も何も出ていない。やるならやる、やらないのならやらないとはつきりとした記事をださないと。この件について理事者はどう思われるのか。

町長

施設については今検討中だ。結果はまだでていないが、今もバス10人乗り2台で無料送迎している。

瀧野議員

全く質問の意図がわかってない。新聞記事はどうですかとお聞きした。

町長

申し訳ないが、新聞記事を見ていないので答弁ができない。

瀧野議員

※道の駅予算、農業振興費から出されているが

農業振興費で、道の駅運営経費1億7953万円、初年度より年度当初予算で増額されているが理由がうかがいたい。

中川企画観光課長

金額については一昨年度の決算を

みて、もろもろ計上したものだ。

瀧野議員

今、企画観光課長が答弁したが、これは農業振興費だ。農政課長が答弁すべきではないのか。道の駅運営費がなぜここにはいつているのか。

土居農政課長

農業振興費部門として道の駅運営費を計上しているが、道の駅については、企画観光課で対応しているのてこうい形をとっている。

瀧野議員

農業振興費は、農業者のための予算だと思うが、このなかに道の駅予算がどれだけ入っているのか、委員会が良いので教えていただきたい。

高橋建設課長

空家調査のための基礎資料データの整備、110万円、空家管理システムの構築340万円。この結果を踏まえて現地等での本調査をおこなう。コンサルに委託する。

中野議員

コンサルに340万円払う。役場職員ではできないのか。できれば節約できるが。

高橋建設課長

ゼンリンの地図を活用して、システムを構築するので専門的な知識のあるコンサルに委託をしたいと考えている。

瀧野議員

※新事業が次々でてくるが起債償還大丈夫か

町道大坊線、ポケットパーク、商店街パンフレット等、都市計画区域の事業が次々から次へと予算計上されているがどうなるのか。平成18年、起債（借金）が280億ほどあった時、年度ごとの起債の返還は幾ら、新しい起債は幾らまでと決めごとをしたがそれはどうなっているのか。

中野議員

※空家対策基礎調査の在り方は
空家対策基礎調査、内容と委託先を伺いたい。

稲田総務課長

起債の取扱いについては行財政改革実行プランの中で運用している。年間起債は10億円以内に抑えるべく抑制している。

瀧野議員

国の補助が40%、町の持ち出しが60%の都市計画区域のみにしか行えない事業を次々に計上してくるのはおかしいのではないか。もっと効率の良い補助を利用すべきではないか。

高橋建設課長

都市再生整備事業は、道路舗装、公園整備、町道修繕等いろいろ町の事業に取り組むことができるのでこの事業での実施を計画した。

中野議員

※小、中学校パソコン経費使いすぎでは

小学校、中学校の教育用コンピュータ保守管理料とリース料併せると4000万円超えている。使い過ぎではないか。この経費、本当に必要なか、正常なのか委員会で検討していただきたいので資料の提出をお願いしたい。経常経費を削減してほんとうにやらんといかん教育に回すような予算計上をしていただ

くべきだと思いがいかか。

遠山教育委員会事務局長

委員会に資料は提出する。コンピュータについては学校教育にどうしても必要なものだ。

中野議員

本来に必要なという根拠が示せる資料も提出されて委員会で検討していただきたい。

※石鎚ヒルクライム大会は観光費で対応すべきでは

ヒルクライム大会開催負担金が保健体育総務費で計上されている。企画観光課の担当ではないかと思うが、理由をうかがいたい。

遠山教育委員会事務局長

住民の健康維持ということで教育費のほうに入っていると理解している。

中野議員

大会には、全部の参加者が何人でも住民は其の内何人だったか。

遠山教育委員会事務局長

手元に資料がないのでまた答える。

日野議員

※町長の進退は

平成28年8月、2期目の任期が終わるが、その後の高野町長の進退についてうかがいたい。

町長

2期目がこの8月に終わるが、まだ残している仕事等もあるので総仕上げとして3期目も出馬をしたいと思っている。

議案第41号

平成28年度久万高原町浄化槽事業別会計

瀧野議員

※浄化槽事業の現状は

浄化槽事業、1年間で何基設置しているか。管理委託業者は何社か。

浮田環境整備課長

5基の予算を組んでいる。管理業務は2社に委託している。

議案第42号

平成28年度久万高原町分譲宅地造成事業特別会計

瀧野議員

※販売促進のためには

提案だが、この宅地を購入するにあたっていろんな足かせがあったと思うが、このままではこの事業の意味がなくなる。もう少し進んだ検討をしてはどうか。

稲田総務課長

3年経過した。今後、検討を進めたい。

議案第48号

久万高原町過疎地域自立促進計画の策定について

中野議員

※計画どおり進めるのか

実際にこれでやろうと計画をだしたのか。

稲田総務課長

この計画のなかにある事業については、過疎債が使えるという事業だ。実際の事業の実施については財政状況を見ながら、計画的に進めていきたい。

総務文教厚生常任委員会審査案件一覧

種類・番号		概要	委員会採決
議案 第 3 号	久万高原町自転車の安全な利用の促進に関する条例の制定について	学校、家庭での自転車交通安全教育を行うよう努め、町は自転車の安全な利用の促進について、広報、啓発活動を行う。	可決 全員一致
議案 第 10 号	久万高原町教職員住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について	教職員住宅の一部については教職員の入居の可能性が低いことから、町管理住宅に転用し有効活用を図る。	可決 全員一致
議案 第 11 号	久万高原町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	介護認定審査会の委員の任期について、2年を超え、3年以下の期間で条例で定める期間とする。	可決 全員一致
議案 第 12 号	久万高原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	小規模な通所介護事業所（利用定員 18 人以下）が地域密着型サービスに移行	可決 全員一致
議案 第 13 号	久万高原町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	①小規模な通所介護事業所が地域密着型サービスに移行②通所介護事業所や小規模多機能型居宅介護のサテライト事業所への移行③利用定員 9 名以下である療養通所介護も地域密着型サービスへ移行	可決 全員一致
議案 第 22 号	平成 27 年度久万高原町一般会計補正予算（第 4 号）		可決 全員一致
議案 第 23 号	平成 27 年度久万高原町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）		可決 全員一致
議案 第 24 号	平成 27 年度久万高原町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第 2 号）	外来収入の減額等	可決 全員一致
議案 第 25 号	平成 27 年度久万高原町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	254 万 3 千円の減額補正 広域連合納付金の減額等	可決 全員一致
議案 第 26 号	平成 27 年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	150 万 8 千円の減額。高額医療合算介護サービス負担金や居宅介護住宅改修負担金の増額等	可決 全員一致
議案 第 27 号	平成 27 年度久万高原町訪問看護事業特別会計補正予算（第 1 号）	31 万円の減額補正。訪問看護介護報酬減額。	可決 全員一致
議案 第 32 号	平成 27 年度久万高原町凶荒予備事業特別会計補正予算（第 1 号）	673 万 7 千円の増額補正。凶荒予備基金の積立金計上等	可決 全員一致
議案 第 33 号	平成 28 年度久万高原町一般会計予算		可決 全員一致
議案 第 34 号	平成 28 年度久万高原町国民健康保険事業特別会計予算	16 億 4,850 万で前年度比較 4,650 万減額。	可決 全員一致
議案 第 35 号	平成 28 年度久万高原町国民健康保険診療所事業特別会計予算	9,254 万 7 千円で前年度比較 209 万 2 千円の減額。	可決 全員一致

種類・番号		概要	委員会採決
議案第36号	平成28年度久万高原町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	1億5,800万円で前年度比較700万円の増額。	可決 全員一致
議案第37号	平成28年度久万高原町介護保険事業特別会計予算	17億410万5千円で前年度比較769万1千円の減額。	可決 全員一致
議案第38号	平成28年度久万高原町訪問看護事業特別会計予算	2,275万1千円で前年度比較16万1千円の減額。	可決 全員一致
議案第43号	平成28年度久万高原町分譲宅地造成事業特別会計予算	736万5千円で前年度比較6万3千円の減額。	可決 全員一致
議案第44号	平成28年度久万高原町立病院事業会計予算	9億2,140万。入院、外来等の医業収益8億4,042万8千円、他会計負担金等の医業外収益8,097万2千円	可決 全員一致
議案第45号	平成28年度久万高原町立老人保健施設事業会計予算	2億9,235万円。介護保健施設サービス費等の施設運営事業収益2億5,673万円、施設運営事業外収益等	可決 全員一致
議案第47号	第2次久万高原町総合計画の策定について	平成28年度～37年度総合計画	可決 全員一致
議案第48号	久万高原町過疎地域自立促進計画の策定について	平成28年度～33年度の過疎債を充当する事業の計画	可決 全員一致

総務文教厚生常任委員会

議案第3号

久万高原町自転車の安全な利用の促進に関する条例の制定について

瀧野委員

※規制ではないのか

道交法上位法がある。規制では無く協力していただく条例か。

稲田総務課長

間違いない。県も条例制定している。

議案第10号

久万高原町教職員住宅設置の一部を改正する条例の制定について

中川委員

※整理して町営に

先生方が入居していない住宅は整理して、先生の入る可能性の無い所は町営住宅にすべきだ。

遠山教育委員会事務局長

入る可能性の無い所、住宅の困窮するところは建設課管理住宅とする。

上岡委員

※黒藤川住宅について

黒藤川3名入居しているが場所はどこか。

遠山教育委員会事務局長

桜井住宅だ。

瀧野委員

※起債が終わった住宅は一般住宅にしては

起債が終わった教員住宅は、一般住宅にしては。使える住宅と補修が必要な住宅を家賃も精査して本議会に提出する前に検討すべきだ。

遠山教育委員会事務局長

今回は削除に合わせたの整理だった。改めて整理する。

議案第22号

平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第4号)

瀧野委員

※光ファイバー引いたが

光ファイバーが野尻から入野で繋がったがテレビはつながらない。将来若者が定住するには、中途半端では意味がない。一定の考えを持って取り組むべきだ。

稲田総務課長

町の財政負担がある。今後の検

討課題だ。

瀧野委員

有線でなくても、安い予算で出来るやり方もある。全町のやれるようもう少し研究してほしい。

※避難所の設定は的確に

西谷の懇談会で、避難所が遠いとの話があった。地域の人は高齢化しており移動も大変だ。防災担当は、地域と相談して1次、2次の避難所の設定を的確にすべきだ。

稲田総務課長

検討課題とする。

瀧野委員

※交通弱者の足の確保を

今、運転できても5年経つと免許も返して、買物、通院が切実になると懇談会で聞いた。議会でも特別委員会を立ち上げ検討しないと。各課のりこえて、町を上げて検討しなければ。

重見保健福祉課長

保健福祉課で検討している。面河をモデル地区として検討している。

瀧野委員

ゆつくりではだめだ。動けない人、お年寄りは大変だ。利用者の身になって早くしてあげないと。議長の意見はどうか。

高橋議長

切実な問題であるので調査・検討して対応する。

町長

難しい現状もあるが、議会にも説明し、財政問題もあり、一緒に検討したい。

川崎総務文教厚生委員長

議会が特別委員会を立ち上げる形で検討したい。

議案第33号

平成28年度久万高原町一般会計予算

中川委員

※ふるさと納税の現状は

ふるさと納税の現状はどうか。使途はどうなっているか。

稲田総務課長

平成27年度は113件、597万6千円。使途は寄付のとき決める。社会福祉・教育や町長に任すなど。

高橋議長

最近、全国で加熱気味だ。各市町村で力を入れているが、担当課を創るとかどうか。お返し特産品で地域振興につながる。

瀧野委員

※美術館等、将来的にどうする

美術館費、収入と歳出の隔たりがあるが。学芸員も新たに雇っている。改修・改善、いずれは解体。負担が大きい。将来的にどうするのか。

玉泉事務局長

美術館も30年。外回り・水周り経年劣化している。大きな改修にならないよう早めに修理してきている。

町長

運営委員会のなかでもっと町のひとも足を運ぶような分かりやすい企画をしてはという意見もあった。

瀧野委員

入館者を増やすように。

上岡委員

※地域おこし協力隊員について

地域おこし協力隊員の配置。人事管理はどうなっているか。

稲田総務課長

4名。農業公園、道の駅、中津地区、まちなか交流館。管理統括は総務課で、職務については担当課で。

上岡委員

交流館での活動内容は。

稲田総務課長

交流館の仕事全般とひな祭り等商店街活性化にもたずさわってもらう。

長山委員

※地域おこし協力隊員募集時の手応えは

稲田総務課長

効果があるのは東京・大阪での説明会。農業公園など施設は見つかり易いが、中津のような地域は困難。海辺は多いが山間部は少ない。

瀧野委員

※子育て世代への応援は

子育て世代を応援する制度は1年間にどのくらいか。

稲田総務課長

結婚祝い2万円18件。新生児祝い3万円39件。平成18年度から実施して延べ結婚祝いが13件、新生児祝いが37件。

瀧野委員

移住定住に対しては、総合計画の中で心の通じる制度、細やかな対応を研究してほしい。

瀧野委員

※町の資産の未登記部分の対応は公会計になるのに、未登記部分が沢山ある。資産計上できないのでは。

稲田総務課長

平成27年度固定資産台帳、平成28年度物品と道路のインフラを整備していく。未登記部分は検討課題だ。

瀧野委員

整理整頓して、早く整備をお願いします。

瀧野委員

※福祉バス・社会福祉協議会の運営

美川福祉バスのサービスの範囲、運行時間がわからないという地域の声がある。検討してほしい。

町長

きちんと見直したい。

瀧野委員

社協に約8000万円補助。うち、人件費7000万円、不採算部門1000万円と聞いている。何年前かに介護保険に首を突っ込み赤字を出した。介護保険への指導はどうなっているか。

重見保健福祉課長

介護保険については、中心地から離れたところのカバーをしている。

瀧野委員

社協がするのは大変だと思うが、長期に続けられることが大切だ。

瀧野委員

※パソコンリース代、タブレットの活用はどうか

パソコンリース代、大きな金額がでている。どうなっているのか。タブレットの活用は検討されたか。

遠山教育委員会事務局長

小・中学校合わせて459台のリース代だ。リース・保守料合わせて年間4500万円。平成29年度に更新なのでタブレットについてはその時検討する。教職員について、今年度N.T.Tの講師で研修する予定。

瀧野委員

議会でもタブレットの活用について研修したが、教育委員会は随行されなかった。子供のためにも努力し、研究し、少しでも前進して欲しい。

産業建設常任委員会審査案件一覧

種類・番号		概要	委員会採決
議案第22号	平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第4号)		可決 全員一致
議案第28号	平成27年度久万高原町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	187万の増額補正。施設修繕費や電気使用料等の需用費の増額。	可決 全員一致
議案第29号	平成27年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	459万減額補正。終末処理場管理委託料等の減額。	可決 全員一致
議案第30号	平成27年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	230万の減額補正。管渠敷設工事費減額。	可決 全員一致
議案第31号	平成27年度久万高原町凶荒予備事業特別会計補正予算(第1号)	673万7千円の増額補正。凶荒予備基金の積立金計上等。	可決 全員一致
議案第33号	平成28年度久万高原町一般会計予算		可決 全員一致

議案第39号	平成28年度久万高原町農業集落排水事業特別会計予算	1億7,355万7千円で前年度比較2,024万9千円の減額。	可決 全員一致
議案第40号	平成28年度久万高原町公共下水道事業特別会計予算	2億5,401万6千円で前年度比較1,117万3千円の増額。	可決 全員一致
議案第41号	平成28年度久万高原町浄化槽事業特別会計予算	3,740万9千円で前年度比較29万2千円の減額。	可決 全員一致
議案第42号	平成28年度久万高原町凶荒予備事業特別会計予算	710万9千円で前年度比較101万1千円の減額。	可決 全員一致
議案第46号	平成28年度久万高原町簡易水道事業会計予算	4億8,143万7千円。給水収益1億3,580万7千円、営業外収益3億4,562万円。	可決 全員一致
議案第49号	久万高原町国民宿舎古岩屋荘の指定管理者の指定について	株式会社石鎚観光に指定	可決 全員一致
議案第50号	久万高原町溪泉亭の指定管理者の指定について	面河アウトドアセンターに指定	可決 全員一致
議案第51号	久万高原町小村農産物直売所の指定管理者の指定について	西谷農産物直売所運営委員会に指定	可決 全員一致

産業建設常任委員会

審議

議案第4号

久万高原町ハイランドパーク
みかわ条例の制定について

山之内委員

いろいろなエリアがあるが、マップがあれば分かり易いがないか。

中川企画観光課長

今は無い。後ほどお示しする。

議案第14号

久万高原町住宅条例の一部を
改正する条例の制定について

山之内委員

基本的な家賃は

高橋建設課長

今回は、教員住宅を管理住宅に変えたものなので教員住宅の家賃を基本にした。

議案第22号

平成27年度久万高原町一般会
計補正予算(第4号)

中野委員

※「森からはじめる」まちづくり
事業について

ブランド材、認証材を併せて進めることで材価アップにつながるのか。

菅森林林業課長

少しでも繋がるようにしたい。

中野委員

販売力、営業力のアップについてもこの事業でカバーできるのか。

菅森林林業課長

協議会をつくり流通面の研究をする。検討案としては、市場材を統合して営業所をつくってはどうか、その窓口は別会社か、森林組合か。等である。

中野委員

ブランド材の中には、高知県材も入れるのか。

菅森林林業課長

優良材として枝打ちされた久万材を、高級材として差別化していく。

中野委員

地方創生において、地域のブランド化は地域の経済力を高めることである。その方向で進めて頂きたい。

西山委員

※林業施策、もっと知らせるべき
厳しい時代ではあるが、林業において、これだけのことを、これだけの予算を取ってきてやって

いる。全体的に網羅して、もつと広報してどうか。

菅森林林業課長

美しい森づくり交付金、活性化プロジェクト等、県内林業予算はほとんど当町に入っている。これらの事もお知らせしていきたい。

議案第33号

平成28年度久万高原町一般会計予算

西山委員

※道の駅予算、別項目にすべきでは

道の駅と農業振興費が一緒になっているのは納得できない。別項目にできないのか。

中川企画観光課長

農業振興費の中に道の駅があるのを見にくいですが、直売所、農家レストランは農業振興だ。道の駅は農業振興の核だ。

西山委員

直売所の産直市場、レストランの地元野菜はそうかもしれないが、道の駅には、パン工房、他もあり全てを農業振興でくくるのは無理があるのでは。

稲田総務課長

道の駅は、農業振興補助金対象だったので継続した。担当課が分けたほうが良ければシステム上可能だ。

西山委員

前年どおりで予算計上している。分けた方が良いのなら、担当課で検討いただきたい。

中野委員

※道の駅副支配人、無駄な出費では

議会だよりアンケートにも意見が寄せられているが、職員の代替えで採用した副支配人を、来年度も継続している。職員配置すれば無駄な出費が控えられるのでは。

中川企画観光課長

職員配置には900万円、副支配人なら300万円。経費は削減されている。

中野委員

道の駅経費で削減になると言われるが、道の駅は一般会計に含まれている。職員は退職されたのではなく、副支配人の経費は全体で見れば、増加分だ。道の駅経費だけを強調されるのなら、まさしく特別会計とすべきだ。早急な移行をお願いする。

稲田総務課長

今年度、特別会計へ移行するか、検討したい。

西山委員

※指定管理料は妥当か
指定管理料の妥当性だが、どういう基準で決めているのか。

中川企画観光課長

指定管理等経営検討委員会、決算・経営状況等資料をいただき検討している。

西山委員

経営状況を見てといわれるが、道の駅の指定管理もいづれ重要な問題となる。検討委員会だけの検討には問題がある。今後の課題だ。

山之内委員

※皿ヶ峰公衆トイレの今後は

皿ヶ峰公衆トイレ解体されるが、新たな計画はあるのか。

中川企画観光課長

今回、解体のみである。今後は動向をみて対応したい。

中野委員

※商工会補助金、どう使われている
商工会補助金1000万円の使途について把握しているか。

中川企画観光課長

報告してもらっているが手元に無い。

中野委員

確認せずに計上したのか。

中川企画観光課長

精査している。資料は提出する。

中野委員

答弁が府に落ちないが、この補助金は、今、観光イベントの協力の補助が主体になっている。町内イベントを主体に商工会かなり活動しているが、出すにしても1000万円丸投げではどうか、確認してから出すべきだ。ヒルクライムも教育委員会だ。観光行政については、イベントごとにくら出したのか費用対効果なども明確に検証すべきだ。町民も知りたはずだ。

町長

ひなまつり、ヒルクライム等補助金はそれぞれきちんと予算を組んでいる。理解いただきたい。

中野委員

商工会活動を把握して予算計上しているのかを訊いた。1000万円計上するに担当課長がどう上げたのか。

町長

資料不足なので後できちんと説明する。

西山委員

※まちなか交流館備品費用早いのは
まちなか交流館の備品購入費用が計上されているが、今の時点でされる理由は。

まちなか交流館の備品購入費用が計上されているが、今の時点でされる理由は。

中川企画観光課長

本体工事に並行して、関連する
ので計上した。

西山委員

早いに越したことはないが、個
人的には補正ですべきだ。

日野委員長

道の駅の特別会計・複式簿記に
検討を。

町長

特別会計へ移行したい。検討し
て議会に報告したい。

中野委員

※粗大ゴミ不法投棄増えているが
議会だよりアンケートに山に粗
大ゴミがたくさんあると寄せられ
た。収集方式が変わったからか。
不法投棄の対応は。

浮田環境整備課長

不法投棄は県と協力、自治会長
に監視員をお願いし監視・通報。
悪質な場合、警察に。粗大ゴミの
収集は28年度は現状で。

中野委員

回数等も含めて取りに行くこと
の周知をお願いしたい。

山之内委員

※事業系生ゴミ対策は
事業系生ゴミの研究。進行状況

は。

浮田環境整備課長

家庭生ゴミを含めて、環境保全
専門委員会を検討中。

玉井委員

※河川の水質検査はしているが
魚の放流もしているが、魚の棲
めない川になっている。水質検査
等しているか、

浮田環境整備課長

久万川5、6カ所。漁協の守る
会もある。

玉井委員

鮎も莫大に放流するがいない。
漁協に任せただけでなく、行政も研
究を。久万川は増水すると濁りが
出てくる。原因を調べてほしい。

浮田環境整備課長

水質検査は有害な物の検査。久
万川の濁りについて原因はわから
ない。

上沖委員

※大宝寺下トイレ、行政の指導は
水質に関してだが、大宝寺下の
トイレはしまっているので巡礼者
は裏でしている。行政の指導は。

浮田環境整備課長

敷地内に公共下水の柵は設置し
ている。下水につなげるようには
なっている。

上沖委員

大坊線29年には完成する。それ
までには対応してほしい。

中野委員

※鳥獣害対策さらに。特にサル
ワイヤーメッシュ柵事業。しば
りが14年と長い。高齢化の中、負
担になっている。国等へ意見はだ
しているか。

土居農政課長

14年は長い、国の定めた耐用
年数だ。

中野委員

柳谷地区ではサルの被害がひど
い。畑は荒らされ、耕作放棄がふ
えている。サルのために耕作をあ
きらめるといのは忍びない。何
とかしたい。今の捕獲等だけでな
く、棲み分けであるとか、先進地
も探して研究していただきたい。

土居農政課長

どこも、苦労している。事例の
調査、研究をしたい。

西山委員

※シカはどうか
鳥獣害シカはどうか。

菅森林林業課長

町内でも増えている。調査で
は、柳谷地区だけでなく久万地区
も、ヒノキの成木の皮をはいでい
る。罨が必要で町で1基購入して

いる。今後増加する。対策が必要だ。

議案第46号

平成28年度久万高原町簡易水
道事業会計予算

中野委員

※企業会計下での修繕は
企業会計になったが、老朽化の
進む簡易水道施設の修繕は丈夫
か。

浮田環境整備課長

建設改良費で2000万円計上
している。古いものから修繕して
いく。

議会最終日、総務文教厚生、産業建設各常任委員会の委員長から付託された議案についての審議、採決についての報告があり、各議案についての議決をした。

続いて、追加議案についての審議にはいった。議案第52号「工事請負契約の締結について」（まちなか交流館工事の契約）では討論が行われ採決となった。賛成6名、反対6名の同数となり議長に採決が委ねられた。議長が賛成の立場を表明し、可決とした。

続いて、行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に伴う関連条例の整備に関する条例の制定他2件を可決した。

続いて、地方創生の着実な推進を求める意見書、TPP大筋合意に対する万全の国内対策を求める意見書、教職員の削減に反対し、教職員配置の充実を求める意見書3件を発議し、採決した。

一般質問、質疑の中でも取り上げられた、交通弱者対策について、総務文教厚生常任委員会の中で協議され「町交通対策に関する特別委員会」設置の提案があり、これを発議し決定した。

最後に、「久万高原町議会出前懇談会及び地域巡回視察報告」が行われた。新たな試みとして、過疎高齢

化と移住・定住をテーマに、1月18日面河地区、2月16日久万地区、3月4日柳谷地区、3月8日美川地区においてそれぞれの地区に出向き、住民の声を議会活動の参考にし、行政に反映させるため、意見交換会を座談会方式で実施した。

積雪等の事情で、座談会は3カ所となった。柳谷、中津地区では主に移住・定住をテーマに、柳谷、名荷地区・美川、黒藤川地区では主に過疎・高齢化をテーマに意見を聞いた。買い物、通学、通院の足の確保対策、介護問題、鳥獣害対策等に多数の意見をいただいた。

議案第33号

平成28年度久万高原町一般会計
予算

中野議員

※子育て共働き世帯への援助を

定住促進費についてだが、移住してきた方、ずっとこの町に住んでいた方の中には、共働きの家庭も多数ある。幼稚園児の送迎が収入を妨げる要因になっているケースもある。幼稚園児の送迎、延長保育等定住される共働き世帯に対して、出来る事をやろうとは考えなかったのか。

稲田総務課長

幼稚園児の送迎とか、全体の保育の関係は福祉の分野で考えていく必要がある。新たな施策については、今後、地方創生の戦略の中で具体的なものを打ち出していく必要がある。

中野議員

対策はこれだけに限らず、多岐にわたるといふことで今後の創生の戦略の中できちっとやっていただきたい。

瀧野議員

※移住、定住対策しつかりやるのか

町として移住、定住に力を入れていくようだが、受け入れ側としては、こんな仕事がある、企業があるとか学校の問題とか、これらをちゃんと情報として伝えられる課、係。移住、定住の予算のなかにそういったものが全く感じられない。計画はするけれど尻すぼみで、来てもらった時に何だこの町はではだめだ。しつかりとした考えでやられるのか、やらないのか、まあまあでいくのか、うかがいたい。

町長

この問題はほんとうに政治がきめ細かくまでは出来ないと思うが、前向きで考えなければならぬ問題だと思ふ。前むいて進めたい。

瀧野議員

※CATVこのあとはどうする

入野から久万まで、出資金100万円計上して光ケーブルを引いた。これ以上はもうやらないのか。

町長

久万高原町全体にという方向もこれからは取り入れなくてはという話もしたが、ここ1、2年では難しい

と思う。

瀧野議員

できるだけ1年くらいでやってもらいたい。20代、30代の子にこの町に来てもらいたいのならインターネットがちゃんと使えないと。その人が来てくれないと、当町はいずれ消滅するだろう。そこが一番大事だ。やる気があるのか、はっきり答えてもらいたい。

稲田総務課長

総合戦略の中でも、そういった環境を整える事もひとつの大きな要件と聞いている。情報通信のめまぐるしい技術の変化を捉えて、的確な方法を検討して今後進めていくべきと思う。

中野議員

※パソコン経費、高いと思わないか

小学校教育振興費6080万円の中で3440万円。中学校では4038万円の中で1071万円。パソコンのリース料等でこれだけ占めている。教育長として当然と思っ

日野教育長

高いとか低いとかいうのは言えな

くても、それが現実である。それだけかかるんだから、これは仕方がないという認識だ。

瀧野議員

※(関連で)パソコン台数は必要なのか。タブレットの活用は

高い、安いは仕方がないという話だったが、金額については、我々も要るものは要ると思うが、無駄な物は買う必要はない。私もその辺を質問している。全部で459台ある。これだけ必要なのか。また、先進地視察で、小学校ではタブレットが良いという事も聞いた。人口知能の進んで65%の仕事がなくなるとも言われているが、その点の教育に取り組むのが遅れたら大変な事になると思うかどうか。

日野教育長

459台には、児童一人あたり1台と教職員の分、全部含まれている。タブレットの研修も教員の中で進んでいる。児童数も減っていくと思うので例えばパソコンの台数を減らしてタブレットを導入するという様な事を考えていきたい。現在、立ち遅れているとは思っていないが、検討していく。

瀧野議員

※大宝寺のトイレどうする

上沖議員の一般質問のトイレの改修の問題。上沖議員は、大坊線改修の際、トイレ改修もという話だったが、どうされるのか。

町長

トイレは個人の物なので、町でやるとは言っていない。このトイレについては一般の人を使うだろうと思っ

瀧野議員

※債務負担行為の考え方は

久万の里に債務負担が計上されているが。

重見保健福祉課長

平成17年から喜久寿33%、町67%だ。

瀧野議員

町が本来しなければならぬ仕事を業者がしてくれているから債務負担する訳だが、してもらった業者とそうでない業者がいる。不公平でないか。今後も続けるのか。

稲田総務課長

債務負担行為だが、その時々状況により、本当に行方を起こすべきかの判断は事業主体、施設等状況について、検討し、議会の議決も要りますので相談しながら取り扱いたい。

議案第52号

工事請負契約の締結について
(まちなか交流館整備工事)

質疑

西山議員

※工事の内容は

まちなか交流館の工事だが、これは建築だけなのか、敷地の舗装工事なども含まれるのか。

中川企画観光課長

舗装整備、駐車場整備も含む。

西山議員

横の河川の護岸も必要な気がするが、安心なのか。

中川企画観光課長

今回の敷地部分について、河川工事の中で対応する。

討論

反対討論

瀧野議員

私は本議案について反対の立場で討論する。

本場に低い補助率（40%）の事業である都市整備計画事業（総額4億7000万円、町の持ち出し約3億円）は、大きな負担が要り、将来に大きな借金を残す事業だ。その中で、まちなか交流館は1億2100万円をかけた事業である。

当初は、既存の建物を利用すると説明を受けていたが、土地、建物を購入後にシロアリで使用が出来ないので新築するとの説明をうけた。町長は、不動産業もされており調査もせずに購入する人ではないと思っ

ているので、あつてはならない事であるかしいと思つた。
建物の解体についても、本来は建設業者を指名すべきだと思つたが、町内の建築業者が指名され、ある業者に丸投げされたと聞いている。金額も約250万円が最終的には770万円と3倍以上となった。普通は再入札すべきと思う。

建物の入札も、1回目7社が、2

回目13社が辞退。大変異常だなと感じた。3回目に14社で実施し、やつと決定した。

最初の説明では、地元の産業を紹介したい、またその体験が出来るような施設を作りたいと相談を受けていたが、実施段階にはいり、町の産業とは関係の無い、こけしの展示館、砥部焼、こけしの絵付けのできる施設であると聞きびつくりした。

久万高原町は、多くの高齢者が暮らす町であり、高齢者の皆さんは長年、町や地域や家族のために頑張っていたのだ方々だ。高齢者の皆さんたちのための施設や、将来を託す子供などと思うが、まちなか交流館のような施設をつくる余裕はないと私は思う。以上のような理由で反対討論をした。

賛成討論

玉井議員

私は賛成の立場で討論する。

まちなか交流館については、平成27年2月18日全員協議会で説明があり、協議した結果やるべきであるとして議決。次いで3月議会で当初予算1億2100万円が可決。4月20日の全員協議会終了後、シロアリで傷

みが激しい旨説明があり、酒蔵を見学し了承している。

これまでは、当時の瀧野議長の取りまとめで順調にまちなか交流館が出来ていきよるのかなと思つていた。

8月には、全員協議会で、土地購入、解体工事等の説明があり我々は了承しているところである。11月25日には、2回目の入札が出来なかつたと聞いて、今回入札を完了して最終段階の今日の会議であつたと思う。我々は、今まで全員で協議し、進んできたものと思つている。

平成27年2月から、担当課長さんも一生懸命この事業に取り組み、今に至つたのではと。今において反対するのはいかなるものであろうかという事で賛成の討論をさせていた

日野議員

あえて賛成討論をさせていただく。過疎化の急激な進行は、当町の最大の悩みである。過疎化をペースダウンさせたい、活力ある町にしたい、当町で生きる全ての人々の願望である。私たち町政に携わる者は町民の願望を真摯に受け止め、力を傾注する義務がある。

町施行の観光立地の観点から、いかに流動人口を呼び込み、経済波及

効果を喚起できるかにかかつており、それが定住効果を生むきっかけになる。幸い、まちなか交流館の存在は大きな価値を持つこととなつてきた。

最大の目玉展示物であるこけし100体は年間を通じ多くの人を当町に呼び、木工教室等、季節を問わず利用されるだろう。町の人との交流のスタートポイントともなる。面河石鎚へ、四国カルストへとアピールできれば、観光資源を生かす事が出来るだろう。

5年、10年にわたる町のビジョンも策定され町は大きく動こうとしている。その中であつて、本件は、平成27年3月に議決された案件であり今日まで、町、議会の担当者、婦人部、青年部、商工会、有識者と協議を重ね今日にこぎつた。

今日まで、多くの人達の賛同と期待をされている本案件は完遂されなければならぬ。議会が議決権の行使を放棄するようなことになれば議会の存在の大義が失われることになる。議決案件の朝令暮改的な否決提案は、唯一の議決権放棄であり、議会に対する町民の信頼を失墜させ、町民に信を問う事態になりかねない。全ての条件が整い、業者まで内定している状況において、良識ある判断を願う。議員としての個々の矜持が問われていると思う。

採決

賛成 6名

川崎 勝弘 ・ 上沖 教一
 山之内 敏秋 ・ 日野 明勅
 長山 淳志 ・ 玉井 春鬼

反対 6名

瀧野 志 ・ 中野 克仁
 上岡 正文 ・ 中川 武志
 田村 昭子 ・ 西山 清一

賛成、反対が同数のため議長裁決となり

高橋 末廣議長が賛成の立場を表明し、可決とした。

議会会報特別委員会で

検討

議会だより第9号を作成するにあたり、「議案第52号工事請負契約の締結について」の討論の中に不適切な発言がありその掲載方法について検討した。

不適切な発言とは

不適切な発言は、日野議員の賛成討論の中の

①「本件は平成27年3月に議決された案件であり」という部分である。本件、すなわち議案第52号は今議会に提出され今まさにその可否を問うているのであり、議決されていない。事実認識が出来ていない発言である。

②「議会が議決権の行使を放棄するような事になれば…」については何をもって、議決権の行使を放棄と言われるか理解できない。

③「議決案件の朝令暮改的な否決提案は、唯一の議決権放棄であり…」否決提案とは何を指すのか。もし

瀧野議員の反対討論の事を言われているのであれば、討論についての認識が疑われ、さらにそれが議決権の放棄につながるというのであれば議論の場である議会の存在をも否定しかねない問題である。

以上の点について議長に報告し、日野議員自ら釈明されるか、委員会名での注釈をいれるか検討してもらったが、不適切な部分は削除してとの回答であった。委員会としては削除したものでは、賛成討論としての呈を成さないのが不適切な部分も含め掲載した上での対応を、高橋議長、日野議員も出席の上、再度検討することとした。

その委員会において、前記①②③について委員会の見解を説明し、日野議員の意見を聴いた。結果としては、釈明はしない。委員会としての注釈を掲載する。との結論に達した。

広報委員会としての意見

この件については、大きくふたつ
 の問題がある。

ひとつは、賛成討論の核をなしているのが、平成27年3月に、当初予算の中で、まちなか交流館建設が認められているのになぜ今になって反対するのか、という点である。

しかしながら、契約締結を議案とするのはなぜか。5000万円を超える予算執行の適正を期するためのものであるのは政令でも定められている。さらに、議決した後でも設計変更などの必要が生じた場合も議決が必要となっている。多額の血税を投じての事業に対しての議会として最終チェックの場でもあるのがこの議案の持つ大きな役割であるからである。

本来、予算案で示された事業内容についても変更があれば、報告案件として議会に提案され議決されるべきである。全員協議会、委員会等で説明し議論されたとしても、議会が了承したことにはならない。そのあたりも議員としては認識すべきだ。そのような観点から、当初予算として成立させたから、「議決された案件」、反対討論を「否決提案」「議決権放棄」と発言されたのは不適切であると指摘しているものである。

もうひとつの問題点は、議場での発言は、その議会が閉会してしまつと、訂正出来ないという点である。議会開会中であれば訂正できたのに閉会してしまつと、どんな問題発言も議事録として残る。議員は、発言の内容に責任を持たねばならない。しかし、発言が不要であつたり、思い違いであつた場合、それを取り消したり訂正をみとめず発言についての全ての責任を取れというのは酷である。そこで、議長の許可を得て訂正、取り消しができることも規則で定められている。また、議長は発言の取り消しを命ずることもできる。

今回の発言については、事実とは異なる内容もあり、議長としては即、発言の訂正、取り消しを求めるときであつたと考へる。議事録はもとより、議会だよりにおいても、議員の発言は、その中核を成すものであり住民、また、他の市町村の議会等の衆目を集めるところである事も心にとどめて頂きたい。

以上、広報特別委員会の意見とする。

表紙説明 第9号



先日、行われた久万中学校の入学式の日の様です。

希望に満ち満ちて校門をくぐる新入生、そんなわが子を見守る父兄を、優しく受け入れてくれる満開の桜。上空には、春らしく柔らかな青空が広がり、そこから差し込む春の陽射し。すべてが、新しい出発を祝福してくれているかのようにです。

この日、入学した新入生たちも、そろそろ中学校生活にも慣れ、芽吹き始めた新芽の様です。早く育つてほしいと願うように。

アンケートにお答えください。

該当する□に✓でチェックして下さい (例 ✓男)

1. 性別 男 女
2. 年齢 20以下 20代 30代 40代
 50代 60代 70以上
3. 住所 旧久万町 旧面河村
 旧美川村 旧柳谷村
4. 「議会だより」について (複数回答可)
 誌面が見にくい 内容がわかりづらい
 議会活動が伝わりにくい
 必要がない

その他 ()

5. その他 何でもご意見があれば、記入して下さい。

裏面のご意見記入欄もご利用して下さい。

アンケートにお答えください。

議会だより、議会報告会についてのご意見をお寄せいただくために今回、左の葉書を用意しました。チェックして、記入して、切り取って送っていただくだけで、ご協力よろしくお願ひいたします。

「その他 何でもご意見があれば、記入して下さい」の欄は、裏面16ページにもスペースがありますのでご利用下さい。



議会だよりに
○○○なコーナーが
あればなあ～

議会報告会で
あんな事
聞きたいなあ～

議会だより
こうすればもっと
見やすいのに!

議会を傍聴しませんか?!

6月定例会(予定) 6月 13日(月) 開会日・一般質問等
6月 14日(火) 総務文教厚生常任委員会
産業建設常任委員会
6月 17日(金) 閉会日

本会議も常任委員会も傍聴できます!

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL・FAX0892-21-0134

議会だより・議会報告会についてのご意見ありませんか?

ご意見等の送付先(郵便又はFAX)

久万高原町 議会事務局 宛
住所 久万高原町久万188
FAX 0892-21-0134

※ご意見等には御住所、御氏名を明記してください。

今回は下のハガキを用意しました。
裏面(23P)のアンケートにお答えいただくと
ともにご意見等お寄せ下さい。



桜の開花を待ちながら開催された3月定例議会。桜も散り、田植えの時期を迎えてやっと、議会だよりをお届けする事ができました。
本来ならもう少し早く、議会だよりを作成したいのですが、2か月掛かってしまっているのが現状です。
送っていたアンケートについては、機会あるごとに質問、質疑等において活用させていただき、提案もしております。また、ご報告したいと考えておりますので、沢山のご意見お待ちしております。
(中野)

編集後記

料金受取人払郵便



差出有効期限
平成29年3月
31日まで
(切手を貼らずに
ご投函ください)

キリトリ線
Post card

7911190

久万高原町久万188
久万高原町議会事務局内
久万高原町議会会報
特別委員会 宛

キリトリ線

久万高原町議会だより

第9号 平成28年5月19日

発行/久万高原町議会
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万188
発行責任者/町議会議長 高橋 末廣
編集/議会広報特別委員会
TEL 0892(21)0134 FAX 0892(21)0134
印刷/明星印刷工業株式会社

ご意見記入欄

